



まちづくり委員会での質問

さいたま市議会 12月定例会報告

11月24日(水)から12月17日(金)までの24日間を会期として、さいたま市議会12月定例会が開催されました。今議会では、新型コロナウイルス感染症や35人学級への対応、さらに、国の第3次補正予算への対応などを含む予算議案6件のほか条例議案8件、一般議案13件、道路議案2件、人事議案3件の合計32件の議案が提出され慎重審議の上、全議案が可決されました。

新型コロナウイルス感染症への対応など
補正予算の特徴

- 子育て世帯への臨時特別給付金10万円を一括給付
- マイナンバーカードの申請サポート及び交付窓口の拡充
- マイナポイントの手続き支援の延長
- 住民税非課税世帯等に1世帯10万円を給付
- 抗体カクテル療法を必要とする患者の移動支援
- 市内の宿泊施設へ宿泊割引(1泊3000円)の補助

まちづくり委員会で議案外質問

身近な道路整備事業申請にあたっての負担軽減を!!

さいたま市では、道路後退用地を寄付いただいて4メートルの道路幅員を確保する「暮らしの道路整備事業」と道路用地の寄付や買収を伴わない道路環境整備や老朽化の改善などを行う「スマイルロード整備事業」があり、ともに市民からの要望とご協力により進めてきました。

しなくてはなりません。かつて区役所で課税台帳の閲覧ができ公図と一緒に地権者が確認できた頃に比べて申請手続きに携わる市民の負担がとても大きくなっています。そこで、今後も身近な道路整備事業を進めていくためには、市民による申請手続きの負担を軽くする方策を考えるべきであると提案しました。

直近3年間の実績	スマイルロード				暮らしの道路			
	年度	申請	実施	整備延長	年度	申請	実施	整備延長
	平成30年	138件	116件	21.6km	平成30年	36件	24件	2.4km
	令和元年	136件	112件	19.5km	令和元年	33件	37件	4.5km
	令和2年	128件	128件	21.2km	令和2年	28件	32件	3.2km

「スマイルロード」「暮らしの道路」の申請には地権者の署名が必要ですが、地権者を特定するには法務局まで出向いて登記事項証明書などを筆ごとに取得

◆土木部長の答弁(要旨)

市民への負担を下げる取り組みについては、沿線住民の方々や権利者全員の署名が集まらない場合や所有者不明の場合には市に御相談いただき個別で状況判断して協力させていただきたい。

また、公図の取得について今後は本市の市税事務所や各区役所の市税の窓口で発行した図面などでも対応できるようにしてまいりたい。

空き家を増やさない対策の拡充を!!

さいたま市では、住生活基本計画の重点施策の一つとして住宅の質の向上とストックの有効活用を掲げています。しかし、近年、空き家数の増加に伴って様々な問題が発生し相談を持ち掛けられることが増えたことから今回は、住宅政策の観点から空き家を増やさないための流通や除却への支援拡充を訴えました。

建築部長からは「流通のための対策として、住み替えなどにより空き家となっている住宅を借り上げ、フ

ミリー世帯などに転貸するマイホーム借り上げ制度の周知を図っている。また、民間賃貸住宅の空き家、空き室を高齢者等の住宅確保要配慮者への住まいの受皿として活用するセーフティネット住宅の登録促進を図っている。」との答弁があり、小森谷議員からは活用や除却への取り組みをさらに推進するよう要望しました。



提案した「おくやみ手続きガイドサービス」が実現!!

令和3年12月1日(水)からおくやみ手続きガイドサービスが導入されました。

本サービスは、ご遺族が区役所での様々な申請や届出等の手続きについて、自宅にいたまま、お持ちのパソコンやスマートフォン、タブレットから簡単な質問に答えることで、どのような手続きが必要になるかを案内するものです。インターネット上のクラウドサービスを活用することで、市内に居住するご遺族のみならず、遠方にご遺族にも手続きの検索が容易に行えるようになりました。

- ◆導入・開設の日時/令和3年12月1日
- ◆接続先アドレス
<https://ttzk.graffer.jp/city-saitama>



令和2年9月定例会の代表質問で小森谷優議員は

「死亡に係る手続きは、年金、保険、税など多岐にわたり、窓口のたらい回しや手続漏れなどにもつながってしまいます。遺族の負担を減らし、役所での滞留時間を短くし、職員の負担も軽減できるようなワンストップ窓口の設置が求められております。」とお悔みコーナーの実現を訴えるとともに、「国においては、『おくやみコーナー設置自治体支援ナビ』を構築して自治体窓口のワンストップ化を支援しています。支援ナビでは、世帯主かどうか、公的年金を受給していたかなど30問程度の質問に答えると、129種類の手続から必要なものが抽出され、一覧で表示されます。自治体独自の支援策などにも対応して、カスタマイズできる仕様になっています。」とお悔み手続きナビの構築を提案していました。今回はこれが実現したものです。

通行の安全確保へ 側溝のふた再整備を推進!

小森谷議員は、令和元年9月定例会で「交通量が多いのに歩道のない道路では、歩行者や自転車は、側溝の蓋の上を通らなくてはならない。しかし、側溝のふたは計画的な補修はされておらず危険なところも多い。歩行者、自転車等の安全な通行のために傷んだ側溝の蓋を改修する事業を進めるべきである。」と提案していました。これまで見沼区内では主要地方道さいたま春日部線(旧16号国道)の蓮沼交差点西側で整備が行われ、大和田駅前交差点の西側でも予定されるなど危険な側溝の蓋の再整備が進められます。



整備前と整備後の
周辺の側溝

大宮聖苑・浦和斎場 「友引の日」火葬の試験運用へ!

高齢化の進展に伴って火葬需給のひっ迫が起きています。近年では、特に冬季においては最大10日間の待機日数が発生しています。そこで、柔軟な施設運営を提案したところ友引の日の火葬や運用時間延長の検討を行うことが示され、当面(1月~2月)、試験運用ということで友引の日の火葬が両施設交互に実施されることになりました。



市長への緊急要望(コロナ対策第8弾)

11月22日、清水市長に対し、コロナ禍から市民の生命と暮らしを守るための取り組みを求める緊急要望を行いました。

- 1 3回目のワクチン接種への体制整備と円滑な実施について
- 2 ワクチン接種証明書及び陰性証明書の導入、有効活用について
- 3 未来応援給付の迅速な実施について
- 4 マイナンバーカード申請に関する窓口とサポート体制の強化について



緊急要望を清水市長に提出

さいたま市議会議員

小森谷 まさる

市政についてのご意見・ご要望はお気軽に

TEL: 048-688-1047

FAX: 048-684-5392

komoriya@komei-saitamacity.com

<https://komoriyamasaru.com/>

